

6 月度 <sup>例会</sup> <sub>個人</sub> 山行報告書		報告者	小田	参加 メンバー	CL:神戸 亀山、町田、中山、天野 吉田、沼崎、小田、北角 西尾
		報告日	6/13		
山域	南山(豊田)	山行日	2012年06月02日(土)		
山名					
山行目的	登山技術講習会(親睦)		コースタイム(天候:天気図記号)		


配布先  
集会:12  
山行:1  
リーダー  
原紙:集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)  
南山ロッククライミング場(P)にて



曇

6:00 集合  
6:25 出発  
7:30 ロープの結び方  
使い方  
8:50 女岩  
トップの確保  
アンカー  
登り方の練習  
12:30 昼  
13:30 男岩 実技  
15:30 解散




2.5 万分の 1 地図 :

山行報告 6時25分にデンソー駐車場を出発、7時半頃現地に到着した。そこから装備の点検とロープの結び方について学んだ。まずはエイトノット、ダブルエイトノット、プルージック、マッシャー、クレムハイトを順番に練習していく。一度見ただけではなかなか理解できず、どの結び方も何度もやり直しをした。ロープは反復練習をしないとすぐに忘れてしまいそうである。

それから女岩に移動し、トップの確保、アンカーについて学ぶ。流動分散による支点のつくり方とビレイのためのインクノット、ATC の使い方について一通り自分でできるように覚えていく。実際にトップが落ちたらどの程度セカンドに荷重がかかるのかを体験するため、亀山さんに落ちるトップ役をやっていただき、各人確認した。落ちるタイミングがわかっている場合でさえ結構な荷重がかかったので、不意に落ちる実践では心してかからねばと感じた。そこから少し登り方の練習を始めた。3点支持で女岩の途中までを登った。腕に力がかかりすぎなのか一度登るとかなりの疲労である。練習あるのみである。

昼食後、男岩に移動し、一通りの流れを練習。トップを確保し、セカンドでのぼり、セルフビレイ。最後はエイト環を使った懸垂降下も体験した。実際の岩場で緊張感を持って、一通りの登山技術を学ぶことができ、非常に楽しかった。しかし盛りだくさんの内容で反復して練習しないと間違いなく忘れてしまうなと思った。機会を設けて練習する必要性を感じた。



女岩を登る西尾氏(右)

リーダー所見昨年のオールトヨタの岩登り講習の復習で、1日半の内容を1日にまとめた。おかげで多数の参加があり盛況だった。特に新入部員の西尾氏は経験を買われて講師のサポート役になっていた。個人でもロープワークなど繰り返し練習し、7月の全ト大会ではデンソーの新人(?)も多少は成長した所を見せたい。

確認  
(リーダー)  
神  
12/06/12  
戸  
作成  
(報告者)  
小  
12/6/11  
田